

様式3の記入について

- 様式3-1: イベント型プログラム(実施日が明確になっている事業)
 様式3-2: 受注型プログラム(参加者が現地に向向き、申込に応じてプログラムを実施する事業)
 様式3-3: 出前講座型プログラム(参加者の希望する会場にてプログラムを実施する事業)

※様式に大きな違いはありませんが、該当する様式での記入をお願いします。(下記の記入例は、【イベント型プログラム】です。)

<記入例>

様式3-1

2025年度版「しがこども体験学校」事業計画書【イベント型事業用】

事業名	2025年度子ども県議会あなたの声を県政に届けよう！									
サブテーマ	次代を担う子どもたちが自ら考え、自ら行動する力を引き出すとともに、子どもが社会に参画する社会づくりを進める。									
事業のねらい	次代を担う子どもたちが自ら考え、自ら行動する力を引き出すとともに、子どもが社会に参画する社会づくりを進める。									
分類テーマ	ふれあい	暮らし・創作	自然	里山・田んぼ	文芸・歴史	いずれかに○ 複数の場合、 一番大切なテーマに◎				
実施エリア	全県	天津	高島	湖南	甲賀	東近江	湖東	湖北	あてはまる エリアに○	

事業のねらいは、ホームページには掲載されませんが、分類テーマと合致するようにしてください。

いずれかに「○」をつけ(複数可)、一番大切なテーマに「◎」をつけてください。

この部分をそのままコピーして、ホームページ用様式に貼り付けます。(場合により、体裁等を整えることがあります)

★全体の枠は広げないでください。ただし、枠内で、項目の行数の増減調整は可能です。

★文字・数字等は、すべて「全角」で入力してください。(ただし、メールアドレスとURLのみ、半角)

↓ ここより下にプログラム情報を入力してください(そのままコピーします) ↓

●プログラム内容

小学4年生から中学3年生の子ども議員が、滋賀県をテーマに体験し、考える中で、活動の集大成として、「子ども県議会」を開催し、自分たちの意見を提案・提言する。



写真やイラストを貼り付ける場合は、この枠内に収まる範囲をお願いします。写真等のデータは大きすぎないように、できる限り圧縮してください。

●対象、参加条件

小学4年生～中学3年生※小学生は保護者同伴

●日時

○月△日()
10時から16時

実施日時、日程が未定の場合は、「8月上旬」等の記載をお願いします。時間は、「9時」「15時30分」などのように、漢字、24時間表記をお願いします。

●定員

40名

●場所

滋賀県庁滋賀県議会議場

●フィールド

屋内

実施されるフィールドを、「水辺」、「里山、森林」、「自然公園」、「その他屋外」、「屋内」等、記入してください。(複数ある場合はすべて記入してください)

●参加費

無料

募集〆切は、7月以降をお願いします。先着順はできるだけ避けていただくことが望ましいですが、先着順で実施される場合は、その旨を明記ください。

●申込方法、〆切、申込先

7月〇日(火)までに、氏名、学校名、学年、保護者名、連絡先、住所を記入の上、下記メールにて申し込んでください。

kodomooumu@pref.shiga.lg.jp

●問合せ先

団体名: 滋賀県子ども若者政策・私学振興課

住所: 大津市京町四丁目1番1号

電話: 077-528-3550

URL: <http://www.pref.shiga.lg.jp/ippan/kosodatekyouiku/kosodate/300359.html>

HP 検索名: 滋賀県子ども県議会



申込方法については、事前に十分検討し、申込先を明確にしてください。また、電話での申込は、電話が殺到する可能性があります。メールで申込の場合は、申込の際に、申込者に何を記載してもらうのか、明記ください。

ホームページがある場合は、URLを半角で入力してください。二次元コードを貼付することも可能です。

↑ ここより上にプログラム情報を入力してください(そのままコピーします) ↑

分類テーマについて(上記テーマに、◎や○をつける際の参考に使ってください)

ふれあい: 人や動物とのふれあいを通して、命の大切さや共に生きることのすばらしさを学ぶ。

暮らし・創作: ものづくりや自分たちの暮らしを見つめる活動を通して、社会と関わり、社会の営みの大切さを学ぶ。

自然: びわ湖・川・山をフィールドに、五感を使った体験を通して、自然のすばらしさを学ぶ。

里山・田んぼ: 田畑・森林・里山をフィールドにした体験を通して、大地の不思議や大切さを学ぶ。

文化芸術・歴史: 優れた芸術や伝統文化に触れたり、歴史、先人の知恵から学んだりする活動を通して、より豊かな心を育む。